

産業能率大学 経営学部

財務データの読み方	履修年次	1	
	単位	2	
倉田 洋、木内 清章	配当期	後	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>これらを踏まえて、本科目では実際の日本を代表する上場企業の財務データの事例を紹介しながら、必修科目として「貸借対照表」「損益計算書」「キャッシュフロー計算書」の財務3表の見方の理解に重点を置いて進め、経営分析(安全性・収益性・効率性・成長性の各分析など)も行い、そのやり方を体得する。さらに、日本を代表する企業のIR情報(有価証券報告書や企業決算資料、IR動画など)を学ぶほか、論理的思考の鍛錬を目的とした数字の捉え方も、毎回の授業の中で取り入れ、ロジカルシンキングとして学んでもらいます。学生諸君には、本科目で習得した財務データの読み方を2年生以降の授業で積極的かつ有効に活用していくことができるように、真摯かつ継続的に授業に臨み、manabaを利用した授業外学習にも十分に組み込んでくれることを期待する。なお、授業外学習の指示・提出はmanabaで行う。最後に、当科目はオンデマンド授業として進めるので時間管理をしっかり行い、最後まで自律性を持って受講すること。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借対照表や損益計算書などの財務諸表の数値を見通すための基礎知識を理解し、それらについて説明できる。</li> <li>・企業の安全性・収益性・効率性などを分析するための主要な指標を理解し、それらについて説明できる。</li> <li>・有価証券報告書など企業のIR情報の見方を理解し、それらについて説明できる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
定期試験、課題提出、授業出席、授業外学習により総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	財務データの読み方を学ぶ目的について	8	売上高と固定資産(実際に日本を代表する企業を分析する3)
2	財務諸表(BS、PL、CS)について	9	売上高と総資産(実際に日本を代表する企業を分析する4)
3	損益計算書(収益、費用、利益)の見方を学ぶ	10	総資産と自己資本(実際に日本を代表する企業を分析する5)
4	貸借対照表(資産、負債・資本)の見方を学ぶ	11	ROAとROE(実際に日本を代表する企業を分析する6)
5	キャッシュフロー計算書の見方を学ぶ	12	フリーキャッシュフロー経営(実際に日本を代表する企業を分析する7)
6	売上高と売上総利益(実際に日本を代表する企業を分析する1)	13	有価証券報告書の読み方を学ぶ
7	売上高と販管費(実際に日本を代表する企業を分析する2)	14	有価証券報告書を使って企業を分析する